

# 避難所検索アプリの制作

張谷 歩輝

## 研究目的

近年は、インターネットの発達により、欲しい情報が容易に手に入りやすくなったと言えるだろう。一昔前までは、避難所の情報やハザードマップの情報を知るには、各自治体が発行している地図や防災情報を確認するのが一般的であった。しかし、現在はインターネットの発達により、避難所の情報やハザードマップの情報は、インターネットで検索することによって容易に入手することが可能になった。さらには、このような情報を利用した防災アプリケーションも多く開発されている。

従来の防災アプリケーションは、避難所を検索することに特化したアプリケーションや河川情報を得ることに特化したアプリケーションが大半であると考えられる。そのため、本作品では、特定の地域や河川における避難所の情報や、河川情報に特化した防災アプリケーションを制作することを目的とした。

## 方法

このアプリケーションを制作するにおいて、「OpenStreetMap」というオープンデータとして活用可能な二次元の地図を作成する世界規模の共同プロジェクトの、地図上に画像を表示する機能や、情報を表示させることができるピンの機能に着目した。これらの機能を利用し、避難所の情報やハザードマップの情報、河川情報をアプリケーション内で確認できるアプリケーションを企画し、制作する。平常時でも災害時でも防災アプリケーションとして利用できるものとする。

## 結論

結果から、防災アプリケーションとして平常時には、十分な情報を得ることができるアプリケーションであると分かった。災害時に評価実験を実施することはできなかったため、災害時にも利用できるアプリケーションであるかは現時点では不明である。